



## 二月や 天神様の 梅の花 (小林一茶)

防府天満宮の梅のつぼみが膨らみ、もう少しできれいな花を咲かせそうです。しかし、まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザなどに罹ることがないように、健康には十分気を付けましょう。この時期、試練を迎えている受験生の家庭もあることでしょう。寒さに負けず自分の夢の実現に向けて頑張ってもらいたいものですね。



### ならぬことはならぬものです

子どもからの「なぜ、人をいじめてはいけないの?」「なぜ、人のものを盗ってはいけないの?」「なぜ、人を殺してはいけないの?」など、「なぜ、いけないの?」という問いに対して、みなさんはどう答えられるのでしょうか。

それは、「相手の気持ちを考えなさい」「法律だから」「人の命は大切なものだから」などといろいろな答え方ができるでしょう。子どもには理解をさせて、納得させて行動をさせることは大切なことです。しかし、「なぜ、人をいじめてはいけないの?」などのような質問には「そのようなことに理由はない、それは人としてしてはならないことだから」と答えてよいのではないのでしょうか。みなさんはどう思われますか。

みなさんの中には「<sup>じゅう</sup> <sup>おきて</sup> 什の掟」という会津藩の決まりについて、聞かれた方もあ

るでしょう。

【什の掟とは・・・】

会津藩では、藩士の子弟たちが「什」というグループを組織していました。その組織の決まりが「什の掟」です。

#### 「什の掟」

- 一、年長者の言うことに背いてはなりません
  - 一、年長者にはおじぎをせねばなりません
  - 一、うそをついてはなりません
  - 一、ひきょうなふるまいをしてはなりません
  - 一、弱い者をいじめてはなりません
  - 一、戸外でものを食べてはなりません
- ならぬことはならぬものです

最後の一節に「ならぬことはならぬものです」とあります。このような武士道精神に反するような振る舞いについては「してはいけないことはしてはいけない」と子弟たちに厳しく教えたのでしょう。当時、そのようなしつけをしたのは、会津藩だけではありませんでした。

私たち現代に生きる者にも体の中にかつての武士道精神は脈々と流れているはずで

す。今も昔も「してはいけないことはしてはいけない」のです。  
私たちは、子どもに対してしてはいけないことには「ならぬことはならぬ」と堂々と答えられる大人になりたいものです。